

富来地域小中一貫校地域説明会(2月16日(月)開催) 回答フォームからいただいたご意見

校舎や施設等のハード面について

1	<p>従来の学校、クラスごとに部屋が分けられていることなどに囚われず、クラスも複式学級が増えていくことが予想できることから開放的になる部屋の作り方や閉鎖的な職員室や図書室を開放的にして先生と生徒が自由に気軽に交流、質問ができるような、自分が調べたいことを探究できるような開放的な校舎にするのがいいと思います。</p>
2	<p>探究学習ができるような学校、ソフト面でもハード面でも。</p>
3	<p>小学生が中学生の中間テストや期末テストの最中でも元気に運動場で遊べるように、騒音を気にせずテストに使用できる防音設備を備えた教室があると良いと思う。例えば大学の講義室の様な部屋だと、テスト期間の使用だけではなく会議や発表にも使用出来ると思います。</p>
4	<p>新しい校舎は、単に新しく整った建物というだけでなく、子どもたちの主体性や対話を引き出す学びの土台となる空間であってほしいと願っています。</p> <p>これからの教育は、知識の詰め込みではなく、自ら問いを立て、対話し、協働する力を育むことが求められています。そのためにも、空間そのものが子どもたちの心に与える影響はとても大きいと感じています。特に、県産材をふんだんに使い、木の温もりを感じられる校舎を強く希望します。木の香りや質感は、子どもたちの安心感や情緒の安定に寄与すると言われています。毎日長い時間を過ごす学校だからこそ、無機質で緊張感のある空間ではなく、自然素材のあたたかさに包まれる環境が望ましいと考えます。コンクリートを基調とした空間は機能的ではありますが、全面的に打ちっばなしとするのではなく、木材を積極的に取り入れることで、心理的な安心感と居心地の良さを高めていただきたいです。</p> <p>また、学年を越えて交流できるオープンスペース、少人数で対話や探究ができる可動式の空間、地域の人が自然に関われる設計など、学び方に合わせた柔軟な空間設計も期待します。</p> <p>建物そのものが、教えるための場所から学びを育てる場所へと発想転換された設計であることを望みます。</p>
5	<p>年々教室に行けない生徒や学校に行けない生徒が増えていて、それはこれからも増えると思うので、それを見据えた上で、現在中学校ではそのような生徒が通う場所として相談室が設けられており、専属の先生も1人いますが、小学校はそのような場所がなく、保健室で1、2時間だけなら過ごすことが出来るという状態なので、小中一貫校として新たに校舎を建てる際は小学生も中学生も利用することが出来る場所を必ず設けて欲しいです。</p>
6	<p>・避難所を兼ねる体育館などは、志賀原発が被害にあったときに、放射能に耐えられる構造になっているのでしょうか？ 万が一のときに、どこに避難すればいいのか心配しています。</p> <p>・相談室は、独立して3から4部屋はあると個別対応がしやすいと思うのですが、いくつの予定でしょうか？また配置を工夫することや、防音対策が必要だと思います。困ったときの居場所にもなるように、あたたかい雰囲気のある場所だといいなと思います。</p>

	<p>・保健室は、小学生も中学生もまとめて対応となると、コロナやインフルなど熱対策や、カウンセリングなどの部屋など、対応が多岐にわたるため、養護職員の複数配置を期待したいです。</p> <p>・建設中はグラウンドが使用できなくなるのではないかと思います、どのように対策する予定でしょうか？</p> <p>・6歳から 15 歳まで、共同で使用する施設が多いと思いますが、小さい子から大きい子まで、成長の度合いがかなり異なると思いますが、トイレや、机、椅子なども含めて、どのようにして対応していくのでしょうか？すべての人が使いやすい施設になるといいと思います。</p> <p>・子どもたちが遊べるキッズスペースは、ラクナ羽咋のように、広いスペースを計画しているのでしょうか？あのような施設だと、町内、町外からも子どもたちが集まるのではないかとはいえます。</p> <p> この項目ではないかとは思いますが、ここで意見を記入しているのは、前回の説明会に参加した人だと思いますが、どうしても都合が悪く参加できなかった方もいらっしゃると思います。参加していなかった人にも、意見を募集する方法も考えていただきたいです。</p> <p> また、子どもたちには意見を聞く場を設けていると聞きましたが、今後、保護者や地域の人と対話しながら意見交換などを行う予定はあるのでしょうか？また、いつごろ何回程度、計画していくのかを知りたいです。</p>
7	<p>子供、先生が自由に動きながら学べる空間作り。建物全体の形は丸に近い多角形のイメージ。メインフロアはたくさんの本に囲まれた広いフロア。5～6人で囲める丸や変形型のテーブル（四角はダメ）、ベンチ、ソファ、個別デスクがあり子供達は自分の好きな空間で学習する。メインフロアを囲むように、オープンなスタッフルーム（職員室）、ランチルーム、体験ルーム（美術、家庭、理科、音楽などの）、体育館的なアリーナ、個別学習や混在学習が可能な学習ルーム（可動式家具で仕切れる工夫）、町民と交流できる空間。</p>
8	<p>ここが、富来が再生するか、しばむかの分かれ道だと思います。</p> <p>子供たちの世代の声を存分に聴いて、どのように子供を育てたいか？富来で過ごしていきたいか？教育の方向性を高齢者も一緒に考えていきませんか？</p> <p>そのためには、2月27日の締め切りは拙速過ぎます。</p> <p>子育て世代と、今から高齢者になる世代と、共に話し合う場と時間が足りていないです。</p> <p>話し合いの場に、学校教育課は来ていましたが生涯学習課が来ていないように思いました。</p> <p>子どもたちが使わない時間帯を、地域の方々がどのように使うか？一緒に考えることで、子供世代が高齢世代から学ぶべきことも見えてきます。新しく建設する校舎の施設や設備は、生涯教育の場であるべきと思います。</p>
9	<p>避難拠点施設だけでなく、校舎でも大人が学べる環境づくりをして欲しいと思います</p>
10	<p>避難所の機能と復興のシンボルになるようにと、発表していたかと思います。特別な事が能登の被災地に比べて何も無くがっかりです。</p> <p>私は、過去に京都市に住んでおり、その近辺で見聞きした事を事例、参考になるのではないかと思います、記載します。</p> <p>京都駅の近くに京都市立芸術大学が建設移転予定です。新しい観光地造り（作品を売るお店）、災害時の避難所を兼ねています。設計は、山本理顕さんで</p>

	<p>す。地域コミュニティを作る事をテーマとされています。(金沢美術工芸大学の新キャンパスの設計者、21 美術館の設計者は、過去、山本理顕さんの事務所に在籍していたと思います。)</p> <p>ただの公民館のような施設だけだと、工夫が足りないと思います。ここでは無理かも知れませんが、住民が小商いが出来ると元気が出ると思います。ちなみに、山本理顕さんは能登のコミュニティ再生を心配されて、力になりたいと、とある配信でおっしゃっていました</p> <p>技術系ボランティアの受け入れ場所を作って欲しい。常時ご苦労されてたようなので。今も心配です。</p> <p>発災直後から、倉庫など打診されましたが、被害が酷くて把握も出来ず、遠くから通っていた様です。</p>
11	<p>校舎の施設・設備は、教育の方針(どんな学びをするか)と一体で検討してほしいです。具体的には次の点を基本設計に入れてください。</p> <p>1) 学びの拠点(図書館コモンズ)</p> <p>図書館を中心に、調べる・話す・発表する学びが日常的に回るよう、コモンズ(協働学習スペース)や展示・発表スペースを整備してほしいです。</p> <p>2) 安心して学べる居場所</p> <p>一人で落ち着ける小さな居場所(静かな部屋)や、相談しやすい動線(保健室・相談室周り)を確保してください。</p> <p>3) 地域が日常的に関われる場</p> <p>地域の方が気軽に立ち寄れる交流スペース(学習支援・カフェのように集える場)や、地域人材(元教員等)による学習支援ができる仕組みを想定した空間を検討してほしいです。また、地域の人も利用できる食堂・ランチの提供等についても、可能性として検討してほしいです。</p> <p>4) 可変空間(自由に仕切れる・つなげられる)</p> <p>固定された四角い教室だけでなく、学年や授業内容に合わせて自由に仕切れる・つなげられる可変空間を増やしてください。可動間仕切りや可動家具により、同じ場所が「今日は音楽」「今日は理科実験」「今日は発表・制作」など柔軟に使える設計を希望します。</p> <p>子どもが短時間でも気分転換できるよう、クッションや座れる場所など“くつろげる居場所”や、軽い運動ができる工夫も検討してほしいです。</p> <p>ハンモックにぶら下がりながら本を読むとか。室内に気分転換に雲梯があったりとか、ロッククライミングがあったりとか。</p> <p>5) 天候に左右されにくい半屋外の学び場</p> <p>雨天でも使える半屋外スペース(軒下デッキ・屋根付き回廊)と、水場・収納を整備し、フィールドワークや観察学習が日常的にできる環境を作ってほしいです。</p> <p>あわせて、住民意見が基本設計にどう反映されるのか、固定事項と変更可能事項(固定/可変の一覧)を示し、意見ごとに採否と理由(可能なら代替案)を公開してください(公開日・公開場所も明示)。</p> <p>また、子どもの声は学年を限定せず、年長児~中学生まで年齢に合った方法で幅広く集め、設計に反映してほしいです。休み時間が短いという子どもの声もあるため、校舎内外に短時間でも気分転換できる居場所(廊下の学び場、ベンチ等)も確保してください。</p>
12	<p>「義務教育学校 大熊町立 学び舎 ゆめの森」のような教育方針に基づいた校舎の施設や設備でありたい。</p>

13	金沢美術工芸大学や金沢工業大学の生徒さんの協力を得ても良いと思います。
14	校庭を広くし、さまざまな種類の動物の飼育を行う。
15	これまでのような学校を作るのであれば作らず、志賀小学校や志賀中学校まで送迎してあげたほうが良いと思う。
16	異論なし。
17	良いと思います。
18	概ね良いと思います。